

日 程 表 (第1日目 11月7日(木))

時間	第1会場：一ツ橋ホール	座長
8:55	開会の辞	
9:00	A-1 核内受容体の新規調節機構の発見と疾患への展開 杉本幸太郎(福島県立医科大学医学部基礎病理学講座)	森井 英一 (大阪大学)
9:40	A-2 腫瘍の進行に寄与する代謝酵素の機能解明 大島 健司(兵庫医科大学医学部病理学(分子病理部門)講座)	榎本 篤 (名古屋大学)
10:20	A-3 Epstein-Barr ウイルスによる発がん機構の解明 牛久 綾(東京大学大学院医学系研究科統合ゲノム学)	菅野 祐幸 (信州大学)
11:00	A-4 法医解剖例を用いた臨床神経病理研究 西田 尚樹(富山大学学術研究部医学系法医学講座)	若林 孝一 (弘前大学)
11:40	B-1 子宮体部未分化癌の臨床病理学的特徴と診断ピットフォール 木原 淳(自治医科大学医学部病理学講座 横浜市立大学医学部・大学院医学研究科分子病理学教室)	柳井 広之 (岡山大学病院)
12:10	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>ランチョンセミナー 1</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">会場：一ツ橋ホール</p> <p>進化する NSCLC 治療：個別化医療のための病理の役割 畑中 豊(北海道大学病院) 座長：豊岡 伸一(岡山大学)</p> <p>共催：アストラゼネカ株式会社</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ランチョンセミナー 2</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">会場：701+702</p> <p>石綿、石綿小体、石綿肺がん 神山 宣彦(労働衛生総合研究所) 座長：森永 謙二 (独立行政法人環境再生保全機構)</p> <p>共催：独立行政法人環境再生保全機構</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ランチョンセミナー 3</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">会場：平安</p> <p>進行胃癌におけるバイオマーカー検査と薬物治療の最新動向 臨床病理学的検討に基づいた進行再発胃癌の治療戦略 原 浩樹(埼玉県立がんセンター) 胃癌病理診断における免疫チェックポイント関連バイオマーカー 桑田 健(国立がん研究センター東病院) 座長：九嶋 亮治(滋賀医科大学) 共催：MSD 株式会社</p> </div> </div>	
13:10	1単位 病理診断特別講演 1 SLPD1 Non-TRU type 肺腺癌の多様な形態、形質と分子異常について 仁木 利郎(江東微生物研究所病理研究所, 自治医科大学病理学講座)	谷田部 恭 (国立がん研究センター中央病院)
14:20	社員総会	
15:40	シンポジウム 1 「新しい science & technology が拓く病理研究の将来展望」 SY1-1 蛍光イメージング技術を用いた病理学研究 松井 崇浩(大阪大学大学院医学系研究科病態病理学・病理診断科) SY1-2 希少上皮細胞に着目した病理研究 山田 洋介(東京大学大学院医学系研究科病態・病理学専攻病理学講座 分子病理学分野) SY1-3 唾液腺オルガノイドが切り開く再生医療と唾液腺疾患研究 田中 準一(昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門) SY1-4 がん微小環境とエピゲノム異常を制圧する治療法開発 田中 美和(公益財団法人がん研究会がん研究所がんエピゲノムプロジェクト) SY1-5 難治性白血病の再現と理解、そして克服へ 石川 文彦(東京科学大学大学院医歯学総合研究科包括病理学分野 理化学研究所ヒト疾患モデル研究チーム)	2単位 池田純一郎 (千葉大学) 倉田 盛人 (東京科学大学病院)
18:00	インターナショナルポスターセッション/ポスターセッション 会場：ポスター会場1(801~804)・ポスター会場2(805+806)	

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

日 程 表 (第2日目 11月8日(金))

時間	第1会場：一ツ橋ホール	座長	
8:00	<p>モーニングセッション 「病理医としてのアドバンテージを体感しよう —海外における病理医活動の紹介—」</p> <p>MS 川上 史(琉球大学大学院医学研究科細胞病理学講座) 久保田直人(栃木県立がんセンター病理診断科・研究所) 草野 弘宣(国立病院機構小倉医療センター臨床検査科) 主催：日本病理学会 国際交流委員会</p>	<p>都築 豊徳 (愛知医科大学)</p> <p>小無田美菜 (国際医療福祉大学)</p>	
9:00	<p>A-5 エピゲノム解析に基づいた胃癌の層別化とその臨床的意義についての解明 松坂 恵介(千葉大学大学院医学研究院診断病理学)</p>	<p>金井 弥栄 (慶應義塾大学)</p>	
9:40	<p>A-6 マクロファージ活性化マーカーの機能的役割の解明と その制御による新規治療戦略 藤原 章雄(熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学講座)</p>	<p>石丸 直澄 (東京科学大学)</p>	
10:20	<p>A-7 病理形態研究に基づく 転移微小環境における多様な間質細胞が支えるがん増殖機構の解明 佐藤 慎哉(神奈川県立がんセンター臨床研究所・形態情報解析室・ がん分子病態学部)</p>	<p>石井源一郎 (国立がん研究センター 東病院)</p>	
11:00	<p>A-8 卵巣明細胞癌における新規治療標的因子の網羅的探索と その臨床的意義の解明 松本 俊英(北里大学医療衛生学部病理学)</p>	<p>前田 大地 (金沢大学)</p>	
11:40	<p>B-2 Solitary pulmonary capillary hemangioma の臨床病理学的研究 橋本 浩次(NTT東日本関東病院病理診断科)</p>	<p>松原 大祐 (筑波大学)</p>	
12:10	<p>ランチョンセミナー 4 会場：一ツ橋ホール</p> <p>胃癌病理診断におけるバイオマーカー 判定の意義と課題 桑田 健(国立がん研究センター東病院) 座長：九嶋 亮治(滋賀医科大学)</p> <p>共催：第一三共株式会社</p>	<p>ランチョンセミナー 5 会場：701+702</p> <p>知っておきたい消化管腫瘍のバイオ マーカー検査の最前線 ~PD-L1 検査を中心に~ 牛久 哲男(東京大学) 座長：薦 幸治(関西医科大学)</p> <p>共催：小野薬品工業株式会社 / プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</p>	<p>ランチョンセミナー 6 会場：平安</p> <p>CLDN18 /ゾルベツキシマブが もたらす胃癌治療の新時代 ~臨床と病理の視点から~ 結城 敏志(北海道大学病院) 八尾 隆史(順天堂大学) 座長：関根 茂樹(慶應義塾大学)</p> <p>共催：ロシュ・ダイアグノスティックス 株式会社</p>
13:10	<p>病理診断特別講演 2 SLPD2 子宮頸部腺癌：病理診断に何が求められるのか 1単位 清川 貴子(東京慈恵会医科大学病理学講座・同附属病院病理部)</p>	<p>三上 芳喜 (熊本大学病院)</p>	
14:15	表彰式		
14:40	<p>特別講演 「医工連携を通じた医学研究の発展について -生理活性タンパク質デリバリーシステムを用いた新規がん治療法の開発研究を通して-」</p> <p>SL-1 がん微小環境ネットワークを標的とした新規治療薬の開発 渡部 徹郎(東京科学大学大学院医歯学総合研究科病態生化学分野)</p> <p>SL-2 高分子ミセルのコア設計に基づく生理活性タンパク質デリバリーシステム 西山 伸宏(東京科学大学科学技術創成研究院 / 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター)</p>	<p>大橋 健一 (東京科学大学)</p>	

15:40	<p>シンポジウム2 「消化管病理の最前線と将来展望」</p> <p>SY2-1 日米における消化管病理の違い 中西 幸浩 (Department of Pathology, Moffitt Cancer Center/ University of South Florida)</p> <p>SY2-2 より正確な「最後の診断」のための病理医と内視鏡医の協働 後藤田卓志 (がん研有明病院・上部消化管内科)</p> <p>SY2-3 組織形態と遺伝子解析のシナジー ～病理医の視点を活かした MSI 胃癌研究～ 高瀬 晶子 (東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学分野)</p> <p>SY2-4 病理医が指摘する自己免疫性胃炎 河内 洋 (がん研究会 有明病院 病理部)</p> <p>SY2-5 大腸鋸歯状病変の組織分類と病理診断 橋本 大輝 (国立がん研究センター中央病院 病理診断科)</p> <p>SY2-6 炎症性腸疾患 (IBD) 関連腫瘍における最近の病理組織学的進歩 岩谷 舞 (信州大学医学部附属病院臨床検査部)</p>	<p>河内 洋 (がん研究会 有明病院)</p> <p>牛久 哲男 (東京大学)</p>
2単位		
17:40	閉会の辞	
18:00	<p>コンパニオンミーティング1 (日本肺病理学会 (JPPS))</p> <p>会場：一ツ橋ホール</p> <p>CM1-1 呼吸器疾患における細胞外マトリックスの役割 中邨 智之 (関西医科大学)</p> <p>CM1-2 見方が変わる？細胞生物学的にみなおす好酸球性疾患の病理 植木 重治 (秋田大学)</p> <p>座長：蔦 幸治 (関西医科大学) 柳川 直樹 (岩手医科大学)</p> <p>オーガナイザー： 大林 千穂 (神鋼記念病院: JPPS 会長) 元井 紀子 (埼玉県立がんセンター: ミーティング幹事)</p>	<p>コンパニオンミーティング2 (第15回妊産婦死亡症例病理カンファレンス)</p> <p>会場：平安</p> <p>症討検討 A型溶血性連鎖球菌家庭内感染による母児死亡に至った1例 野田 百合 (関西医科大学)</p> <p>羊水塞栓症の一割検例 服部 結 (県立広島病院)</p> <p>子宮内胎児死亡、誘発分娩後に非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) をきたして死亡した妊産婦の一割検例 前西 修 (近畿大学病院)</p> <p>オーガナイザー： 竹内 真 (大阪母子医療センター) 若狭 朋子 (近畿大学奈良病院) 阿萬 紫 (宮崎大学)</p>

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

オンデマンド配信 (Web開催)

特別講演、シンポジウム、病理診断特別講演、A 演説、B 演説などの学術講演会を大会ホームページにて配信

配信期間：11月19日(火)正午～12月23日(月)正午 ※予定

Webセミナー

WS1 胃癌に関するバイオマーカー検査の最新情報～PD-L1 スコアリングの留意点～
桑田 健 (国立がん研究センター東病院)

WS2 全自動免疫染色装置の活用による、効率的な病理検査室運営について
上原 剛 (信州大学)

共催：アジレント・テクノロジー株式会社

※社員総会・表彰式・ポスターセッション・ランチョンセミナー・コンパニオンミーティング・モーニングセッションは現地開催のみ